

- Q. 産業廃棄物最終処分場をつくらせないよう、取り組みを強めるべきだ**
- A. 反対の立場で、取り組みを強めていく**



ここを聞きました

- 市政懇談会について
- 国民健康保険の広域化について
- 短期人間ドックについて
- 産業廃棄物最終処分場について

の協力をお願いしたいがどうか。
市長 市の取り組みの範囲はあるが協力していきたい。

産業廃棄物最終処分場について

宮田 本年5月12日に県と事業者との間で行われた事前協議が終了し、今後は本申請が出される中でのたたかひとなる。地元住民は、高梁川流域に暮らす多くの住民の生活と営農を守るため、断固たたく決意で反対運動を進めている。市として、このことを受け今後どのように取り組むのか。

市長 市は住民生活が脅かされる恐れのある施設の建設には、反対の立場で取り組んでいる。本申請でも、市の意見を求められるが、反対の意見をしっかりと主張していきたい。

宮田 署名活動やカンパ活動、下流自治体や各種団体への働きかけなどを強化していきたいので、市



高梁・佐与谷産廃の弁護団（6月8日学習会にて）

文教総務委員会

「高梁市税条例の一部を改正する条例」

委員 軽自動車は庶民の移動手段であり、軽自動車税が上がると大変負担になるので反対する。

委員 軽自動車は普通車並みに性能がよくなっており、税の平等性からいうと税を上げないといけないという議論が以前から国政でも行われてきた。このたび実施されるということ賛成する。

「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める請願」

委員 本市では平成18年12月に非核平和都市宣言が議決されている。改めてこの請願を採択する必要はないのか。

委員 この趣旨に従った意見書を政府に提出されるようお願いして、この請願に賛成する。

産業経済委員会

「高梁市景観条例」

委員 条例施行すると市民の皆さんの協力が必要となってくる。どのような確認、了解が取れているのか。

執行部 平成23年度から重点地区において説明会を開いてきた。3月には景観フォーラムを開催し、広報誌へも計画の内容をお知らせしている。今後とも広報、啓発に努めていく。



先進地に視察に行きました

産業経済委員会

7月2日から4日まで管外行政視察を行いました。

長野県東御市では、ワインリキユール特区を活用して初期投資の少ない小規模な施設でワインの製造、販売が可能となるような条件整備を行い地域農業の振興を目指している。新規就農者支援として、市の支援制度と県の里親制度をあわせ、担い手育成、巨峰栽培の労力確保、荒廃地対策等に力を入れている。

東京都東大和市では、農産物共同直売所運営委員会が主体となり、市役所ロビーで週1日アンテナショップを開設している。市内産の野菜、果物、花きを生産者が直接提供しているという点で好評を得ている。同委員会では全員エコファーマーとして認定され、新鮮で安全・安心な農産物を生産し農業振興に努めている。



長野県東御市視察の様子

奈良県宇陀市では、平成21年5月から猟友会16人、市職員3人で鳥獣被害対策実施隊を設置している。防除施設設置補助事業も多彩に用意し、狩猟免許登録の経費の助成、共同でわなを管理する経費の助成をしている。また、隣接の三重県名張市と県を超えて広域対策協議会をつくり、国の補助制度を活用し多様な対策を実施している。今回学んだ先進地の視察を参考に農業振興等に取り組んでいきたい。

市民生活委員会

「高梁市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」

委員 国民健康保険税は、当初予算では5%の引き上げが見込まれていたが、3%弱の引き上げに抑えることができたことについて一定の評価をする。

委員 市民生活を考えると4月に消費税が8%に引き上げられ、厳しい時期だからこそ反対せざるを得ない。

「高梁地域の野良猫をなくすための方策に関する請願書」

委員 請願項目について請願者に再度検討してもらいたいため採択とすべきだ。

委員 請願趣旨は十分理解でき、3つの項目のみの一部採択を求める。



議会運営委員会

管外行政視察報告

7月31日に津山市議会、新見市議会を視察しました。

津山市議会では定例会の会期および日程と一般質問、議案質疑の方法について、新見市議会では予算決算特別委員会とタブレット端末の取り扱いについて学んできました。今後の議会運営の取り組みの参考にさせていただきます。